

# リーフレットを活用するための 指導の手引

北海道教育委員会

中学生用

風水害編

## 学ん DE 防災

このリーフレットは、特別活動や総合的な時間などにおいて、北海道で発生した台風などによる被害について理解を深めるとともに、災害に対し、日頃から自分の安全を確保するために、どのようなことが必要かを話し合うなどして、生徒自らが防災意識を高めることをねらいとしています。

### 指導のポイント！

日本は、毎年、台風や大雨、竜巻などによる被害を受けています。北海道においても、過去に人命が失われたり、家が流されるなどの被害があり、災害の発生に備える必要があることを理解させます。

気象災害の発生が予想される場合には、テレビやラジオなどで最新の気象情報を入手するように指導します。

### もっと詳しく！



「風水害」は、強風と大雨および高潮、波浪により起こる災害の総称で、「気象災害」は、大雨、強風、雷などの気象現象によって生じる災害を指します。気象災害に関する用語は、気象庁のウェブページで紹介されています。

気象災害に関する用語



気象庁では、大雨や強風などの気象現象によって災害が起こるおそれのあるときに「注意報」を、重大な災害が起こるおそれのあるときに「警報」を発表します。

気象庁 警報・注意報の解説



「北海道防災教育資料 風水害について学ぼう」は、中学校理科の学習指導要領に示されている気象に対する科学的な見方や考え方を育成することや、自然環境の保全に寄与する態度を育成することにおいて、効果的な教材です。特に理科の内容である「自然の恵みと災害」については、この資料を参考に、台風や洪水を題材にして指導すると効果的です。

北海道防災教育資料（風水害編）



### 指導のポイント！

気象庁の発表する台風の強さ・大きさなどに関する情報とその活用方法について理解を深めます。

### もっと詳しく！



気象庁のテキスト「大雨や台風について学ぼう」では、台風や大雨によって起こる災害、台風情報の利用方法などについて紹介されています。

大雨や台風について学ぼう



台風の発生数と日本への接近数・上陸数などについては、気象庁のウェブページで紹介されています。

気象庁 台風の統計資料



### 指導のポイント！

日頃からの備えについて家族で話し合い、生徒や保護者の防災意識を高めるとともに、話し合った内容を学級で交流し、危険回避能力の向上を図ります。

気象情報に注意するとともに、市町村の「避難勧告」や「避難指示」の意味を正しく理解し、危険を感じたら速やかに避難するよう指導します。「避難勧告」は、災害が発生し、または発生するおそれがある場合に、居住者や滞在者に立ち退きを勧め促すものであり、「避難指示」は、危険が切迫し、強く避難を指示する場合に発せられるものです。

### もっと詳しく！



「政府インターネットテレビ」の「防災気象情報がきめこまかくなりました～風水害から身を守ろう」の番組では、風水害への備えについて紹介されています。

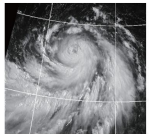
防災気象情報がきめこまかくなりました



### 風水害から身を守るために

「風水害」とは、強風と大雨および波浪などにより起こる災害の総称です。全国各地では、毎年のように台風や集中豪雨による洪水や土砂崩れが発生し、都市部でも集中豪雨などにより、住宅街や道路などが冠水する被害が生じています。また、発達した積乱雲によって竜巻、大雨、雷などが発生し、様々な被害を及ぼしています。

風水害から身を守るために、災害の特徴を知り、どのような備えが必要か考えておきましょう。



台風の衛星画像（気象庁提供）

### 北海道の災害

北海道は、これまでも台風や竜巻などによる大きな被害を受けています。夏から秋にかけては、前線や台風の影響により大雨が降り、洪水や土砂崩れなどの災害が発生しています。また、冬には、大雪や吹雪により交通機関が麻痺するなど、一年を通じて、気象の変化が私たちの生活に大きな影響を与えています。

### 平成15(2003)年8月 台風第10号

台風と前線の影響により北海道地方を中心に総雨量が多いところ約400ミリの大雨が降りました。河川のはん濘により、自動車などが流され死者、行方不明者が出たほか、家屋の浸水被害が発生しました。

### 平成18(2006)年11月 竜巻

網走地方の佐呂間町付近を寒冷前線が通過する際、大気の状態が不安定となり、竜巻が発生しました。この竜巻により、長さ1km、幅200mの範囲にあった建物が倒壊し、死者が出るなどの被害が発生しました。

### 豆知識

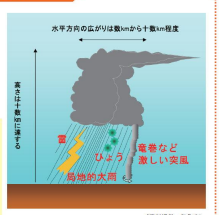
### 積乱雲に注意！

雲は、空気が上昇気流によって上空に押し上げられて発生します。大気の状態が不安定になると、強い上昇気流により雲が成長を続けて積乱雲になります。

発達した積乱雲は、短い時間で強い雨を降らせるほか、竜巻などの激しい突風、雷、ひょうなど、狭い範囲に激しい気象現象をもたらすことがあるので、空の様子や最新の気象情報に注意しましょう。

### 雷が聞こえたらすぐ避難！

- 建物の中や屋根付きの乗り物（自動車など）へ避難しましょう。
- 雨宿りで木の下に入るのは危険です。木や電柱からは4m以上はなれましょう。
- 避難する場所がないときは姿勢を低くしましょう。



### 台風情報に強くなる！

台風は、強風や大雨により大きな被害をもたらします。台風に関する情報では、次のような気象用語を用いて警報を呼びかけています。気象情報を活用し、台風から身を守りましょう。

（大きさ）		（強さ）	
雨級	風速 15m/秒以上の半径	雨級	最大風速(m/秒)
大型（大きい）	500km以上～800km未満	強い	33以上～44未満
超大型（非常に大きい）	800km以上	非常に強い	44以上～54未満
		猛烈な	54以上

（注）上の円形は、猛風域を表します。この円内は風速 15m/秒以上の強い風が吹く可能性のある範囲です。

（注）台風の規模を大きさで強さで「大型で強い台風」などと呼んでいます。気象庁は台風の勢力を上の方のように「大きさ」と「強さ」で表現しています。

（風の強さと吹き方）		（雨の強さと降り方）	
予報用語	平均風速(m/秒)	予報用語	1時間の雨量(mm)
やや強い風	10以上 15未満	やや強い雨	10以上 20未満
強い風	15以上 20未満	強い雨	20以上 30未満
非常に強い風	20以上 25未満	激しい雨	30以上 50未満
猛烈な風	25以上 30未満	非常に激しい雨	50以上 80未満
	30以上	猛烈な雨	80以上

### 風水害に備えよう

- 1 気象情報の入手先を確認しておきましょう。  
最新の気象情報は、何から入手できるかな？
- 2 避難勧告や避難指示が発令されたらすぐに避難しましょう。  
自宅や学校の近くの避難場所はどこかな？
- 3 危険な場所には絶対に近づかないようにしましょう。  
河川のはん濘や土砂崩れのおそれがあるところなど、地域で危険な場所はどこかな？

発行：平成23年10月  
発行所：北海道教育委員会（生徒指導・学校安全）  
問い合わせ：北海道教育庁学校教育部 企画課（電話 011-231-4111（内線 35-670））  
URL: <http://www.dokyojyo.pref.hokkaido.jp/hk/ssa/>

（協力機関）  
北海道教育大学札幌校、北海道教育大学旭川校、札幌学院大学、北海道PTA連合会、北海道高等学校PTA連合会、道庁大学（イラサ・イラサ 石田晴香 伊藤幸枝）

シリーズ「学ん DE 防災」(中学生用)  
（地震編）（津波編）  
左のURL（ウェブ）に掲載しています。